

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【公開番号】特開2013-123080(P2013-123080A)

【公開日】平成25年6月20日(2013.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2013-032

【出願番号】特願2011-246875(P2011-246875)

【国際特許分類】

H 04 W 16/32 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 2 3 8

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月5日(2015.8.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の無線基地局装置から協調マルチポイント送信される信号を受信するユーザ端末であって、

擬似ランダム系列の初期化に用いる所定の情報をハイヤレイヤシグナリングで受信する受信部と、

前記所定の情報を利用して擬似ランダム系列を初期化し、当該擬似ランダム系列を用いて生成した参照信号系列を用いて信号処理を行う信号処理部と、を有し、

前記所定の情報は、セル識別情報以外の情報であることを特徴とするユーザ端末。

【請求項2】

前記所定の情報は、セル識別情報及びユーザ識別情報以外のユーザ固有情報であることを特徴とする請求項1記載のユーザ端末。

【請求項3】

前記参照信号系列は復調用参照信号であり、前記信号処理部は受信信号を復調する復調部を含むことを特徴とする請求項1又は請求項2記載のユーザ端末。

【請求項4】

前記所定の情報は、擬似ランダム系列の初期化においてセル識別情報の代わりに利用されることを特徴とする請求項3記載のユーザ端末。

【請求項5】

前記参照信号系列はチャネル状態情報用参照信号であり、前記信号処理部はフィードバック情報を生成するフィードバック情報生成部を含むことを特徴とする請求項1又は請求項2記載のユーザ端末。

【請求項6】

複数の無線基地局装置から協調マルチポイント送信される信号を受信するユーザ端末と通信する無線基地局装置であって、

所定の情報を利用して擬似ランダム系列を初期化し、当該擬似ランダム系列を用いて参考信号系列を生成する生成部と、

前記参照信号系列を送信し、前記所定の情報をハイヤレイヤシグナリングで前記ユーザ端末に送信する送信部と、を有し、

前記所定の情報は、セル識別情報以外の情報であることを特徴とする無線基地局装置。

【請求項 7】

複数の無線基地局装置と、前記複数の無線基地局装置から協調マルチポイント送信される信号を受信するユーザ端末と、を備えた無線通信システムであって、

前記ユーザ端末は、擬似ランダム系列の初期化に用いる所定の情報をハイヤレイヤシグナリングで受信する受信部と、

前記所定の情報をを利用して擬似ランダム系列を初期化し、当該擬似ランダム系列を用いて生成した参照信号系列を用いて信号処理を行う信号処理部と、を有し、

前記所定の情報は、セル識別情報以外の情報であることを特徴とする無線通信システム。

【請求項 8】

複数の無線基地局装置から協調マルチポイント送信される信号を受信するユーザ端末の無線通信方法であって、

擬似ランダム系列の初期化に用いる所定の情報をハイヤレイヤシグナリングで受信する工程と、

前記所定の情報をを利用して擬似ランダム系列を初期化し、当該擬似ランダム系列を用いて生成した参照信号系列を用いて信号処理を行う工程と、を有し、

前記所定の情報は、セル識別情報以外の情報であることを特徴とする無線通信方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の一態様のユーザ端末は、複数の無線基地局装置から協調マルチポイント送信される信号を受信するユーザ端末であって、擬似ランダム系列の初期化に用いる所定の情報をハイヤレイヤシグナリングで受信する受信部と、前記所定の情報をを利用して擬似ランダム系列を初期化し、当該擬似ランダム系列を用いて生成した参照信号系列を用いて信号処理を行う信号処理部と、を有し、前記所定の情報は、セル識別情報以外の情報であることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の一態様の無線基地局装置は、複数の無線基地局装置から協調マルチポイント送信される信号を受信するユーザ端末と通信する無線基地局装置であって、所定の情報をを利用して擬似ランダム系列を初期化し、当該擬似ランダム系列を用いて参照信号系列を生成する生成部と、前記参照信号系列を送信し、前記所定の情報をハイヤレイヤシグナリングで前記ユーザ端末に送信する送信部と、を有し、前記所定の情報は、セル識別情報以外の情報であることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の一態様の無線通信システムは、複数の無線基地局装置と、前記複数の無線基地局装置から協調マルチポイント送信される信号を受信するユーザ端末と、を備えた無線通信システムであって、前記ユーザ端末は、擬似ランダム系列の初期化に用いる所定の情報

をハイヤレイヤシグナリングで受信する受信部と、前記所定の情報を利用して擬似ランダム系列を初期化し、当該擬似ランダム系列を用いて生成した参照信号系列を用いて信号処理を行う信号処理部と、を有し、前記所定の情報は、セル識別情報以外の情報であることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明の一態様の無線通信方法は、複数の無線基地局装置から協調マルチポイント送信される信号を受信するユーザ端末の無線通信方法であって、擬似ランダム系列の初期化に用いる所定の情報をハイヤレイヤシグナリングで受信する工程と、前記所定の情報を利用して擬似ランダム系列を初期化し、当該擬似ランダム系列を用いて生成した参照信号系列を用いて信号処理を行う工程と、を有し、前記所定の情報は、セル識別情報以外の情報であることを特徴とする。